



## 学校主催の就職EXPOへの参加

埼玉地方協力本部（本部長 山下1空佐）は、九月十三日（月）埼玉県立朝霞高等学校において実施された定時制生徒に対する就職等進路選択勉強会に八澤空曹長と本橋2陸曹二名の担当地区広報官を派遣して募集広報活動を実施した。

今回の参加は、本橋広報官による学校側への地道な働きかけにより初めて参加できることとなったもので、埼玉地本を含む各企業等一九社が学校体育館において説明用ブースを開設し、各学年の希望者に対して丁寧かつ具体的に説明を実施した。希望者は、三名以下の小グループに分かれ各ブースを巡回し、今後の再就職の参考とするため熱心に話を聞いていた。

広報官は、自衛隊の魅力発について力強く説明を行い、陸海空自衛隊のそれぞれの特長・制度・魅力・やりがい等について具体例を上げながら説明を実施した。

参加した生徒は、卒業後の進路の参考として終始真剣に広報官の話に耳を傾けていた。また、話を聞いて深く興味を持った生徒もおり、同僚や友人にも話してみたい等、自衛隊の理解促進にも効果があった。

今回の参加は、学校側担当教諭等の理解を得られたことにより可能となったもので深く感謝するとともに、今後も積極的かつ粘り強く活動を行い、基盤の獲得につなげられるよう取り組んでいきたい。



## 市立浦和高校校長との面談

自衛隊埼玉地方協力本部（本部長 山下1佐）は9月16日（木）市立浦和高校において吉野校長と懇談を実施した。

今回の懇談は当校に対する過去の受験、入校（昨年度防衛医科大学校へ2名入校）に対する御礼並びに今後の各種試験への受験依頼とともに自衛隊及び幹部自衛官の役割、やりがい、魅力等について説明することが目的であった。

懇談は終始和やかに行われ、校長からは生徒の進学に関する傾向や将来の仕事に関する考えなどについて話があった。特に最近では難関大学に挑戦するよりも自分の求める分野を追求したいと考える生徒が多くなっているとのことであった。

本部長からは防衛大学校及び防衛医科大学校の学生生活や将来のキャリアプラン等についての説明し、優秀な生徒の受験を依頼した。一方、校長からも受験に出来る限り協力していきたいとの強い言葉を頂いた。

最後は校長自ら考え揮毫した四字熟語「知学孝行」（自ら抱いた疑問や好奇心に従いながら書物等で更に学び、正解のない状況においても与えられた条件の中で自分なりに考え、自分がすべきこと、できることを判断し行動する。）の前で写真撮影を行った。

埼玉地方協力本部は今後も各学校に対して、自衛隊に対する理解を深め、各種試験への受験者を増やすために効果的な募集広報を実施するとともに、積極的に募集基盤の強化につなげていくとしている。

